

スクールのホットライン

親子でダンス&除草

from 新栄小学校

新栄小学校では、毎年、夏休みに親子ダンスと親子除草を行っています。今年度は、八月二十四日(木)、午後四時から実施しました。

親子ダンスは、運動会で全校児童とその保護者で踊るダンスの練習です。今年度は、「ダンシングヒーロー」を踊ります。



この曲は、元氣よく楽しく踊ることができると、ここ数年続いています。ダンスの先生として体育協会の橋本さんをお迎えして、コツを教えてもらいました。その後、音楽に合わせて一通り踊ってみました。みんな、すぐにコツをつかんで、上手に踊ることができました。

続いて、通学団ごとに分かれて、運動場、体育館の裏校舎の北側などと場所を分担し、草取りをしました。

夕方から始めたといえ、残暑が残る中、熱心に除草活動をしていただきました。



中には、「自宅から除草道具を持参し、家族総出で活動に参加していただいたご家庭もありました。夏休みの間に伸びてしまった雑草が、みるきれいに取除かれていききました。参加していただいた保護者の方々、本当にありがとうございました。」

こうして、お家の方々と一緒にダンスをしたり除草活動に参加したりすることを通して、子どもたちの心にコミュニケーション能力や勤労意欲を育て、人と協力して成し遂げる喜びを実感させることができます。

新栄小学校では、これからも、地域の皆様のお力をお借りし、人と人との関わりを大切にしたいと考えております。

私の航空史

岡野允俊

工場用地調査

三菱は県下の旧軍関係の飛行場を調査して回った。飛行場隣接の工場用地を探したのだ。 「大府飛行場」を断念し、次は「清洲飛行場」である。といっても、清洲飛行場を知っている人は少なかった。これは戦争末期に、各地に造られた防空戦闘機用の飛行場の一つであった。アメリカ・ダグラス調査団は、B・二九に空撮された写真を示し、K・Y・O・S・U A/Bがあると教えてくれた。藁をもつかむ思いで早速調査した。碁目寺を探し出し、この辺りを見渡してみたら飛行場らしいものはどこにもなく、一面青々とした水田ばかりである。

行き会った古老に尋ねると「戦時中、陸軍の兵隊さんに田圃を強制的に買い上げられて飛行場を造ることになり、使役に動員されたものだがとうとう一機も飛ばずに終戦。あとは我先に畑、田圃にしてしまったワナモ」という。もちろん、飛行場としての跡形もなく、これも夢と消えてしまった。

次は名古屋港の「国際飛行場」

を調査した。戦時中は三菱大江工場から運ばれてきた海軍機をここで整備し、鈴鹿海軍航空隊へ空輸していたところである。この地区は当時まだ米陸軍の通信隊が入っていたので、同飛行場への入場手続きも大変であった。米軍から入場目的は何かと聞かれ、とつさに「戦時中の建物の調査だ」と言っただけで入場を許可してもらった。だが結果は、滑走路の延長不可と米軍通信隊の鉄柱が林立しており、これも断念せざるを得なかった。

次は浜松へ行った。今の航空自衛隊浜松基地であるが、ここは名古屋とあまりにも離れており労働関係の問題等で従業員を収容する厚生施設から造っていたのでは投資が大きくこれも断念。そして最後に「小牧飛行場」を念のため調べてみようということになった。今から思うとなぜ最初に小牧を調査しなかったのかと思われるが、当時小牧飛行場は米軍管轄下の基地であり、そんなところへの進出は到底不可能であると初めからあきらめていたのである。(米軍の飛行機を修理するのだからアンタとこの基地の一角を使わせてくれ、と交渉すればよかったのに)と思う。だがこれは当時の状況が分かっている者の言うことであつた。

特集

町政あんない

情報コーナー

まなびすと

キラリ健康ナビ

わいわいプラザ